

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		社会教育委員活動費 [社会教育委員活動事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号	3			
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習係					係	課長名	高田匡章			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施 策 番 号	1 - 2			
【施策名】 生涯学習の充実							総 合 計 画 書 (ページ)	35			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	社会教育委員 →				社会教育委員の人数(定員10人以内)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	「子どもの安全・安心を支える社会教育～子育てしやすく、住みやすいまちづくりを目指して～」をテーマに提言をまとめる。 →				本文＝14ページ 参考資料＝11ページ						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①社会教育に関わる諸計画、提言を立案する。 ②提言を立案するための調査・研究を行う。 ③提言テーマにおける現状を把握するための現地視察を行う。 ④研修会等へ出席する。 →				①定例会議 11回 ②起草委員会 3回 ③現地視察 2回 ④研修会等 2回						
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	10	9	9					
	成果指標	②の数値									
	目 標	②の目標値									
4 環境変化等	活動指標		③の数値	回	11	11	11				
	財 源		円	1,164,155	1,138,018	1,239,694	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円	1,164,155	1,138,018	1,239,694					
	特定財源		円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)		人	0.6	0.6	0.6					
	所要人数(再任用以外)		人								
	職員人件費(再任用以外)		円	4,951,800	4,946,400						
職員人件費(再任用)		円			2,350,200						
事業費+人件費		円	6,115,955	6,084,418	3,589,894						
(1) 開始年度		S41 年度									
(2) 環境の変化		H11: 社会教育法「第15条2 社会教育委員の構成詳細の簡略化」「第16条 公民館を設置する市町村にあっては、社会教育委員は第29条に規定する公民館運営審議会委員をもって充てることができる。」削除 H13: 社会教育法「第15条 家庭教育の向上に資する活動を行う者」追加 H20: 社会教育法「第13条 社会教育委員を置かない教育委員会でも、他の審議機関をおく場合に団体補助金の支出を可能に」 H25: 社会教育法「第18条 委嘱の基準については文部科学省で定める基準を参酌する。」 H26: 社会教育委員及び公民館運営審議会の委員の委嘱の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準を定める省令									

事業名称	社会教育委員活動費 [社会教育委員活動事業]			
担当部署・課長名	社会教育課	課	生涯学習係	課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 社会教育委員から、社会教育と生涯学習が、なぜ一本化していないのかについて、疑問が出された。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：⑧社会教育関係団体補助金諮問答申。社会教育に関する研究・教育委員会への提言。⑥都市社連協 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 社会教育委員の研修の推進。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 社会教育理解の向上のために、社会教育と生涯学習の来歴について話題とした。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 令和2年度に都市社連協第2ブロック研修会の幹事である。社会教育と生涯学習の理解を深め、社会教育委員の役割、提言を策定する意義などについて考えを深める機会とする。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 社会教育法に即し、社会教育委員が活動しやすい環境構築を推進するとともに、社会教育委員のスキルアップを図るため、必要に応じて活動支援を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 社会教育委員の研修参加を強く呼びかけるとともに、「社教情報」をはじめとする刊行物が発行されたら適宜配布する等、十分な情報提供を行う必要がある。			